

現代日本語における「まんじ」の記号と 使用者による意味理解のメカニズム

—表現できないものを表現したい場合の一例—

Semantic Mechanisms of Interpreting the *Manji* Mark in Japanese: A Case of Expressing the Inexpressible

有 光 奈 美

はじめに

現代日本語において「まんじ」の記号(卍)が含まれているテキストを見かける。インターネット関連の媒体の中でも SNS やメール等、主に若者間の内輪の親しい仲間におけるくだけた書き言葉という位置付けで用いられているようである。絵文字のような使用方法であるが、その使用者、使用方法、意味理解についてははっきりしないことが多い。本研究では、大学生を対象にアンケート調査を行い、どのような場面でどのような方法でどのような意味伝達・意味理解をしているかということ进行调查した。この事例に対して、語用論の分析方法を用いて、人間が表現できないものを表現したい場合に、どのような目的でどのような方策を選択することがあるかということ を解明する。また、他にどのような類例があるかということも合わせて提示する。

1. 記号としての「まんじ」

1.1 「まんじ」(卍) の見られる文脈

2018 年現在、「まんじ」という記号である「卍」をインターネット上の媒体で見かけることがある。以下のような新聞記事がある。

＜マジ卍(まんじ)！＞。寺を示す地図記号で古くヒンズー教や仏教でめでたいしるしとされてきた「卍」が今、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)上で若い世代、特に女子高校生により昨年後半から頻繁に使われている。昨年末には三省堂辞書の編集委員らが選ぶ「今年の新語」の候補にもなった。ところが流行の起りは不明で、意味すらよく分からず、専門家たちは頭を抱えている。

【大村健一】「毎日新聞」(会員限定有料記事) 2018 年 1 月 9 日 18 時 13 分(最終更新 1 月 9 日 20 時 10 分)「マジ卍 意味や流行の起りは？ 専門家も『？』」

<https://mainichi.jp/articles/20180110/k00/00m/040/026000c>

ここで「昨年末には三省堂辞書の編集委員らが選ぶ『今年の新語』の候補にもなった」と書かれているのは、2017 年のことである。2017 年の「今年の新語」の候補にはなったが選外であった。

1.2 広辞苑における「まんじ」

「まんじ」は広辞苑では、以下のように定義されている。

【卍・卐】(万字の意味)

- ① (梵語 *svastika* ヴィシュヌなどの胸部にある旋毛) 功德円満の意味。仏像の胸に描き、吉祥万徳の相とするもの。右旋・左旋の両種があり、日本の仏教では主に左旋を用い、寺院の記号などにも用いる。
- ② ①のような形。
- ③ 紋所の名。①にかたどったもの。左まんじ・右まんじ・角立まんじ・丸まんじなど。
→ 卍崩し組子：卍を崩した形を連想させた組子。法隆寺の金堂・中門・五重塔のなどの上層の高欄の地覆と平桁との間にある。
→ 卍巴：卍や巴の模様のように、追いかけるように入り乱れるさま。

このように広辞苑では右旋・左旋の両種を「まんじ」と呼びながらも、日本の仏教では主に左旋を用いるとしている。また、以下のような文例では、左卍と右卍を別物として日本文化の「まんじ」は左旋だと紹介している。

F: [...] I was looking at a map on the other day and I noticed that the symbol for Buddhist temples is the Nazi swastika. Why is that?

J: In Japanese that is called *manji* and it's been Buddhist symbol for hundreds of years. It has been used in other cultures as well. If you look closely, you'll see that the Nazi symbol is the reverse of the *manji*.

F: I wonder if the Nazis copied it.

J: Hmm, good question, but I can't help you with that one.

F: [...] この前、地図を見ていたら、お寺の記号がナチスドイツの国章のかぎ十字だっ
てことに気がついたんだ。どうしてかぎ十字なの？

J: 日本では「まんじ」と呼ばれていて、何百年も前からお寺の象徴として使われてきたの。ほかの文化圏でも同じよ。よく見るとわかるけど、ナチスドイツの国章はまんじのかぎが逆向きになっているわ。

F: ナチスドイツが真似したのかな。

J: うーん、難しい質問ね。それはさすがにわからないわ。

江口裕之&ダニエル・ドゥーマス (2017) 『英語で語る日本事情 2020』 152-153, The Japan Times

本論文では、左旋のまんじの記号に注目することとする。右旋のまんじはハーケンクロイツでもあり右卍か左卍に関わらず、どちらも法律によって禁止されている国もある。「しまむらは、世界の先例に何も学ばなかった 「鉤十字」マーク品はなぜ販売中止になったか」(『東洋経済』2015/08/22 6:00 坂口 孝則 <https://toyokeizai.net/articles-/81378>) という記事が雑誌に載るほどに国際的にデリケートな問題である。「ファッションセンターしまむら」は、ナチスドイツのシンボルだったハーケンクロイツのマー

クの入ったペンダントとタンクトップのセット商品を一部店舗で販売していたが、消費者からの指摘を受けて 2015 年 8 月 19 日に販売中止した。この記号に関わる世界的かつ歴史的背景の研究は他に譲るとして、本論文では現代日本語の口語的な日常文脈で用いられている左旋のまんじの意味解釈に注目する。

2. 流行語と推論能力

2.1 三省堂辞書の編集委員らが選ぶ「今年の新語」

2017 年の三省堂辞書の編集委員らが選ぶ「今年の新語」では下記の語が 10 位を占め、「𠄎」は選外だった。

1 位 忖度	6 位 草	選外 𠄎
2 位 インフルエンサー	7 位 仮想通貨	選外 プレミアムフライ
3 位 パワーワード	8 位 オフショル	デー
4 位 ○○ロス	9 位 イキる	選外 熱盛
5 位 フェイクニュース	10 位 きゅんきゅん	

(<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/topic/shingo2017/2017/Preference01.html>)

「𠄎」については、以下のように選評が加えられている。

「𠄎」ってどういう意味？

このほか、最後まで議論の対象になりながら、惜しくも選外になったことばについて触れておきます。「𠄎」は、中高生の若者、特に女子がさかんに使っているようです。この状況はツイッターを見れば一目瞭然です。〈これからバイトとかマジ𠄎〉〈嬉しすぎて𠄎〉〈行きたすぎる𠄎〉……などと「𠄎」が乱舞しています。『𠄎』の意味が分からない」という声も多く、正直なところ、選考委員もびんと来ません。「𠄎な彼氏」は「ヤンキーな彼氏」であるなど、いろいろに使われるようです。ただ、「マジ𠄎」という連続が多いことから、「マンジ」はもともと「マジ」の強調形で、そこからいろいろな意味が分化したとも考えられます。だとすると、〈これからバイトとかマジ𠄎〉は「これからバイトに行くのは、本当に、本当に（嫌だ）」ということと解釈できます。〈行きたすぎる𠄎〉は、「マジで行きたい」ということでしょう。後者の「𠄎」は、あるいは、発音せずに、特に意味のない記号として使っているのかもしれませんが。なかなか興味深い表現であり、使用実態をもっと研究してみたい気はします。ただ、意味・用法が固まりきっていない現状では、辞書には載せられません。というわけで、選外になりました。

(<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/topic/shingo2017/2017/Preference06.html>)

ここには、𠄎の用例が具体的に紹介されている。「これからバイトとかマジ𠄎」のように文末使用もあるが、「𠄎な彼氏」のように形容詞として用いられていることもある。「マジ𠄎」という連続が多いことも指摘されている。「マンジ」が「マジ」の強調形で「本当に」という意味になっていると推測されている。〈嬉しすぎて𠄎〉のように良い

意味を強めるのにも使用できていることから、この「本当に」という強調が良い意味にも悪い意味にも用いられるようである。また、「行きたすぎる卍」の「卍」は、あるいは、発音せずに、特に意味のない記号として使っているのではないかということも指摘されている。確かに特に厳密な意味はないかもしれないが、意味のない記号を意図的に添えるか添えないかで全体としての意味が変化することもある。

2.2 隣接ペアと言いさし表現

一般に人間の会話には隣接ペア (adjacency pairs) が存在していることが語用論で指摘されてきている。特に決まりきっているのは挨拶である。

(1) Anna: Hello. Bill: Hi.

(2) A: How ya doin'? B: Can't complain. (Yule 1996: 77)

(3) A: お出掛けですか? B: ええちょっとそこまで。

ここでは A と B という異なる話し手による「第一部分」と「第二部分」が存在する。A と A という同一人物では会話にならない。こうした場面で A が独りで延々と話し続けるようなこともない。この短い頻繁に起こる日常的な会話のやりとりにおいて、B は必ずしも正確な内容や真実や詳細を述べることは求められていない。単に、沈黙や合間を置かず、適切に (ほぼ決まりきった) 返答をすれば良いのである。そうすることで A と B は社会的な発話の目的を達成できている。B の返答は正確でも良いが曖昧でも良い。A も B を見かけたので声をかけた程度であり、声をかけない方が社会的に敵対関係にある。お互いが何か適切な範囲の内容で埋めることが必要なのである。ここでの発話の目的は、A と B がお互いに適切な社会的行動をする人であるということを示し合いたいのである。常識的な社交がある人であるという印象をお互いに与えられる。B が無言であるとしたら、何かを言った以上のこと (その話題に触れたくない、あなたが嫌いである等) を伝達することにつながるため、一般的な人間関係であればそれは避けたい。B には一般的な社会行動として、具体性のない内容で構わないので何かを返答することが求められているのである。

この隣接ペアが生み出す第二部分の「具体性のない内容で構わない何か」という曖昧さは「まんじ」の持つ機能とつながるものがある。聞き手に字義通りの意味理解を求めているのではなく、発話全体としての理解を求めている。

「まんじ」は文末につく場合、「これからバイトとかマジ卍」「嬉しすぎて卍」「行きたすぎる卍」のように後半部分が省略されていたり、後半部分が強調されていたりする。これらは言いさし表現と並べて分析することも可能である。言いさし表現とは、規範的には文法上適格に終止していない文を用いて文を終わりにする表現であり、「お願いがあるんですが。」というようにおしつけがましくなく聞き手に何かの判断を委ね、行動を促すことができる。「ですが」の他にも「けれども」「けど」「から」「ので」のような用法も挙げることができる。どれも婉曲的であり、後続の部分を聞き手が察することを求めている。意図的に文末まで完結させて言い切ることを避けている。「これからバイトとかマジ卍」「嬉しすぎて卍」はその空白部分に卍を補っているところか

ら類似点がある。読み手ならこの文脈から当然推論してわかるだろう、あるいは、書き手側がどのように詳細に表現して良いのかわからないという場面で無言であることや、表現が不在であることは避けたい、という動機から「読み手にとっては書き手が具体的な意味解釈を定めるまでもなくその意味は明らかであるのでその解釈は読み手に委ねた」あるいは「意味詳細を書き手自身も定めることはできないがいわく言い難い何かは表現してその解釈は読み手に委ねた」という状況を書き手は作りたいのではないか、もっといえば「そのようにほぼ正しく意味を推し量れるくらい自分たちの間はわかりあっている親密度や連帯感がある」という状況を示したいのではないかと考えられる。「テストの結果が悪くて卍」であれば、一般にテストの結果が悪ければ落胆する、と推論できるので、この卍は「本当に嫌だ・ネガティブな気持ちだ」という意味での卍だと理解できる。語用論では、周辺部と言われる発話のはじめと終わりにおいて、語用論的調節がされることが知られてきている（小野寺，2017）。卍が文末に置かれる用法も発話の終わりという周辺部に見られる現代日本語の新しい用法の一つであると言える。周辺部には話し手・書き手から聞き手・読み手への心的態度の表れを見ることができる。

3. アンケート結果

3.1 卍（まんじ）を読んだり聞いたりしたことがあるか。具体的にどのような表現か。

東洋大学1年生～4年生の男女147人を対象にアンケートを2018年春学期に実施した。まず「(1) 日常生活で「卍」や「まんじ」が使われている（書かれている・発音されている）のを読んだり聞いたりしたことがありますか」という問いに「はい・いいえ」で回答を求めた結果、はい122人、いいえ23人、未回答2人であった。このことから、大半が卍（まんじ）を読んだり聞いたりしたことがあるということがわかった。

次に、「(2) 「卍」や「まんじ」という表現が使われている場面に接した時、それは具体的にどのような表現で、誰とどのような場面で、どのような意味で使われていましたか」という問いを与え、「具体的にどのような表現か。誰と、どのような場面か。どのような意味か」を自由に記述してもらった。それを「良い意味」、「悪い意味」、「意味はない、あるいは良し悪しの両方」に分類した。ここでの「良い意味」、「悪い意味」とは、価値的な「良い意味」、「悪い意味」のことで、Horn (2005) も踏襲している Cruse (1980) の言う *evaluatively/emotionally positive: e-pos* と *evaluatively/emotionally negative: e-neg* の意味合いである。

良い意味

- ・楽しい。友達とテンションが高いとき。このダサい表現をあえて使うのが面白い
- ・語尾につける。卍ポーズで写真を撮る。友達と。意味は特にない。ふざけたことをしている時
- ・やったね卍。友人と。すごいねー！
- ・お寿司も食べれるね、まじ卍 友達とのグループLINE。やったねの意味
- ・ふざけている。笑みたいな

- ・最高まんじみみたいな。友達と遊んでいる時とか。よくわからない
- ・今日部活はやく終わった㊦。部室へ戻る時。嬉しい気持ちを表している。
- ・友達と LINE で楽しくやり取りしている時
- ・お前㊦すぎだよ。友達に食事代をおごった時。良い意味

悪い意味

- ・やばい。Twitter でテストが大変な時。「こんなのわからない」という意味
- ・事故った㊦。友達との LINE。やばい
- ・バイトマジ㊦。友達雑談。だるい
- ・マジ㊦ ネット上で。本当にしんどい。つらい
- ・テストきつい㊦ 友達と。日常会話で。やばい
- ・様々に使える アルバイトで友達と。がっかり
- ・先生の宿題多すぎ㊦。友達との会話。先生の宿題が多すぎてがっかりした気持ち
- ・マジ㊦。友達と会話で使う。㊦で気持ちがのらないことを表している。だるいなど

意味はない、あるいは良し悪しの両方

- ・特に意味はない (3 人)
- ・まじ㊦ 友達とふざけている時。あんまり意味がない
- ・SNS 普通の友達。特に意味はない?
- ・友達との SNS や KINE。絵文字や飾りで語尾につける
- ・まじまんじ。友人と日常的に。めっちゃやばいみたいな意味
- ・マジ㊦ 友達と話している時。やばいなどと同義。適当
- ・粗っばい。大胆な行動を耳にした時。仲いい人と会話で。ヤンキーがかってるね
- ・非日常的なことが起きた時に。友達と携帯メッセージで。特に意味はない
- ・ふざけている時。意味はないように思える。感嘆詞みたいなもの
- ・イキってる。同年代の人と文語でも口語でも
- ・㊦じゃん、友達という時。ヤンキーじゃん
- ・少しバカにしてる? 友達とふざけて話すとき。特に意味はない
- ・まじあいつ㊦じゃね。友人と。ヤバい
- ・文末。友人と LINE。意味はわからない
- ・謎。友達と日常会話で。やばい。ただ語尾に着けている言葉と勝手に解釈している
- ・㊦やわ。友人と、LINE で。意味はない
- ・意味がわからなかった。多分大学生が話しているのを聞いた
- ・調子に乗っている時に友達が語尾につけていた
- ・「㊦」単体で送られてきます。友達と LINE。意味はよくわからないですけど多分どんな意味にでもできると思います
- ・まじ、まんじ (ダジャレとかでなくまじで? とかで使う「まじ」です笑) 友達と例えば嬉しいことがあったときやおもしろいことがあったとき、最悪なことがあった時。特別意味はないと思う。類似表現で言うと「ヤバい」
- ・友達と喋ってる時。気分が上がった時とか、やらかした時とか
- ・やばい、すごい
- ・妹が使っている。バカみたいな場面。意味はない

- ・情報番組。特集で一般人が。特に具体的な意味はなさそうだった
- ・マジ卍。友達との会話。すごい、ヤバイという意味。やらかした

これらを概観することで、友達との内輪表現であることや、ネット上の新しいコミュニケーション媒体で使用されており、いろいろな文脈に応じて「卍」の意味が異なっていることが裏付けられた。良い意味を強調する場合と悪い意味を強調する場合と両方で使われている。また、「意味がない」「意味がわからない」「良くも悪くも使える」と認識している回答もあった。

3.2 自分自身が使うか。なぜか。

続いて、「(3) あなた自身は、日常生活で『卍』や『まんじ』という表現を使いますか」という問いに「はい・いいえ」で回答を求めた結果、はい 29 人、いいえ 144 人、未回答 4 人であった。このことから自分自身は使わないという多くの数の存在を認めることができた。つまり、使われているのを聞いたり読んだりするが、自分自身は使わないということが明らかになった。知っているのに進んでは使わない背景にどのような心理がはたらいているのか、以下の二つの問いで調べた。まず、「(5) なぜ、もっとわかりやすい他の表現ではなく、『卍』や『まんじ』がわざわざ使われることがあると思いますか」という問いについては、以下のような回答を得た。

- ・流行っているから、周りが使っているから (28 人)
- ・簡単に表現できるから。卍は一文字で使いやすいから、主に SNS 上で使われるため、文字数の制限と受けづらいという利点がある。エモいやヤバみも同じだと思うが、自分の感情をてっとり早く伝えたいからだと思う。(長々と感情を説明するのが面倒だから) (10 人)
- ・語感がいいから、言葉の音が面白いから (8 人)
- ・流行りの言葉を使うことが若者のステータス。若者は略語を好む傾向がある (3 人)
- ・面白いから (7 人)
- ・色んな意味があるから。言いやすい。特に意味は特定されてないから。適当に使えるから。それだけでなんとなく意味が通じる (6 人)
- ・省略のためノリがよくなる、なんか使いたくなる時がある (4 人)
- ・若さのアピール、若気のいたり、学生感を楽しむため (3 人)
- ・なんでもないことがカッコいい感じになるから (2 人)
- ・何か言いたいけれど、言葉に表すことが不可能なときに使われるのだと思う。微妙な感情を表すから (2 人)
- ・「やばい」みたいに使えるから (2 人)
- ・最近の若い人たちはあえて言葉を記号にすることが最先端でカッコいいと思っているから
- ・新しい流行を作りたかったから
- ・書きやすいから
- ・見た目にインパクトがあるから

- ・絵文字のように親しみやすい
- ・むしろテンションが伝わりやす良い表現なのでは？
- ・もともと流行する前に使っていた。ださい人達をバカにするため
- ・言葉で表現すると長くなってしまう感情が短い文字で伝わるから
- ・それっぽいやから
- ・言葉を思い出す手間が省けるから
- ・なじみのない言葉で珍しく感じられるから
- ・言いたいだけ
- ・言葉のレパートリーのなさ
- ・人と違うことを言いたかったから？
- ・短い言葉で相手に自分の気持ちを伝えられマイナスな表現全般に使えて楽だから
- ・ニュアンスを伝えるだけで済むから
- ・適当に記号を選んでなんとなく使用しているだけだと思います
- ・意味が昔と広がったから便利ということだと思う
- ・ださいヤンキー感を文字で表すことができるから
- ・他の人はわからないけど自分は気持ちで使っています
- ・一種のゲームだと思います

さらに、「(6)『ㄱ』や『まんじ』という表現を知っていても使わない人がいるとしたら、その理由は何であると思いますか」という問いについては、以下のような回答を得た。

- ・頭が悪そうに見えるから、馬鹿っぽいから (17 人)
- ・定義が曖昧だから、意味をそもそも分かっていないから (13 人)
- ・使う必要がないから (10 人)
- ・恥ずかしい。語彙力がないと思われたくない (9 人)
- ・いい年してダサイ、流行が過ぎた (7 人)
- ・日本語として美しくないから好きではない (4 人)
- ・品格を失うのを嫌って (3 人)
- ・正しくない日本語だと思っているので、使わない (3 人)
- ・若者ことばのイメージが強いから (2 人)
- ・特に意味がない言葉だから (2 人)
- ・あまり良いイメージがない (2 人)
- ・正しい日本語ではないから。言葉使いが汚く聞こえるから (2 人)
- ・面白いと思わないから。イタイと思っているから
- ・少し子供っぽい気がする (中高生が使うイメージ)
- ・色々な人たちが使っているため絶対使わないと思っている
- ・使いやすいと思わないから

興味深いのは、使用する理由と使用しない理由に同じものがあることである。つまり、

「流行しているから（使いたい）（使いたくない）」や「意味が分からないから（使いたい）（使いたくない）」というのは表裏一体の関係にある。

4. いわく言い難いことを伝えるとき

4.1 メリー・ポピンズの supercalifragilisticexpialidocious

映画「メリー・ポピンズ」は、アカデミー賞 5 部門を受賞したディズニーの名作ミュージカル（1964 年）である。P.L. Travers によるファンタジー、児童文学シリーズを原作としており、あらすじは以下の通りである。ロンドンに住むバンクス氏は、娘ジェーンと息子マイケルのために厳しい乳母を捜していた。しかし、子供たちは優しくて若くて美人で親切な乳母を求めている。子供たちの願いが届いたある朝、メリー・ポピンズがパラソルを開いて東風に乗って家に現れる。この映画の中に supercalifragilisticexpialidocious という語（歌）がある。メリー・ポピンズを演じている女優ジュリー・アンドリュースが歌う。映画における使用場面での台詞では「いわく言い難い状況を、この言葉（語）でしか表現できない」といった趣旨のことを歌っている。

It's Supercalifragilisticexpialidocious Even though the sound of it is something quite atrocious If you say it loud enough, you'll always sound precocious. Supercalifragilisticexpialidocious	of it is something quite atrocious If you say it loud enough, you'll always sound precocious. Supercalifragilisticexpialidocious	if you say it loud enough, you'll always sound precocious. Supercalifragilisticexpialidocious
Um diddle diddle diddle, um diddle ay!	Um diddle diddle diddle, um diddle ay	No, you can say it backwards, which is Dociusalixepilisticfragilirupus Don't you think?
Because I was afraid to speak when I was just a lad, My father gave me nose a tweak And told me I was bad.	He traveled all around the world and everywhere he went He'd use his word and all would say "There goes a clever gent!"	So when the cat has got your tongue There's no need for dismay Just summon up this word and then you've got a lot to say
But then one day I learned a word That saved me achin' nose, The biggest word you ever heard And this is how it goes, oh	When Dukes and Maharajahs Pass the time of day with me, I say me special word and then they ask me out to tea. Oh, Supercalifragilisticexpialidocious	But better use it carefully or it can change your life for example, yes, One night I said it to me girl and now me girl's me wife. oh, and a lovely thing she's too
Supercalifragilisticexpialidocious Even though the sound	Even though the sound of it is something quite atrocious	Yeah, Supercalifragilisticexpialidocious

supercalifragilisticexpialidocious 以外の部分では、この言葉を唱えることで、無口でも父親に鼻をつねられない、世界を旅行中に素晴らしい紳士だと褒められたり公爵やマハラジャにお茶に招かれたりした、恐怖や臆病のために黙っている時に言葉が溢れてきた、この言葉を唱えることで今の妻を得た等、さまざまな問題が良い方向に解決されたことが歌われている。なお、atrocious (残虐な、残忍な、凶悪な、非人道的な恐ろしい、ゾッとさせる、趣味が悪い、嫌な)、precocious (早熟な、ませた)、supercalifragilisticexpialidocious 等は韻を踏むように作られており、歌詞を聞くだけでなく映画の場面と合わせて見ていけばいっそうのこと困った状況を解決してくれたり明るい気持ちにさせたりしてくれる良い意味での魔法の言葉であるということは文脈からわかるようになっている。しかし、少なくとも日本語では、この単語は定着しておらず、一般には意味不明である。英語圏では特別に長い英単語ということでスペリングビー (単語のスペルの正確さを競う競技会) で出題されたりするようだが、日本人大学生 147 人を対象にしたアンケート結果では、「(1)『メリー・ポピンズ』という映画があることを知っていますか? (2) どのような話か知っていますか? (3)「スーパーカリフラジリスティックエクスピアリドーシャス (Supercalifragilisticexpialidocious)」という単語を聞いたことがありますか? (4) この単語が、どのような意味か知っていますか? 簡単に説明してください」という問いに対して、そもそも映画を知っている人が 60 人、知らない 60 人、未回答 3 人であったことから、現在、映画自体が大学生にはあまり知られていないようである。単語そのものについては、意味を知っている 39 人、知らない 95 人、未回答 11 人であった。ただし、この英単語の場合、super (上)、-cious (形容詞を示す接尾辞) 等、意味を類推させる具体的な手がかりが複数あり、まんじ (㇔) とは一概に同じとは言えない。つまり、英語の語構造について良く知っている聞き手であれば、この単語の意味をおぼろげながらも想像することが可能である。まんじ (㇔) はその点、意味を類推できる手がかりが少なく、より記号としての側面が強い。また、映画の中でこの歌は長調で、歌っている女優も笑顔であり、明らかに明るいポジティブな印象を与える。いわゆる言い難い状況を表現するのに用いたい表現である、という点はまんじ (㇔) の用法と共通している。ウィトゲンシュタインは「論理哲学論考」の最後で「話をするのが不可能なことについては、人は沈黙せねばならない」と説いた。確かにそれは言語の限界であり本質である。同時に、その限界を感じながらも、いわゆる言い難い気持ちを表現しないのではなくどうにか表現したいというのは言語の違いを超えて普遍的に存在している場面なのではないかと考える。

4.2 その他の感情に関わる類例

2017 年に新語の候補となりながらも選外であったが「㇔」だが、それより前の 2016 年の三省堂辞書の編集委員らが選ぶ「今年の新語」で、興味深い語が 2 位に入っている。2016 年の 2 位は「エモい」であった。「エモい」は「三省堂 辞書を編む人が選ぶ『今年の新語 2016』」において、以下のように選評が与えられている。

2位の「エモい」は、エモーショナル、つまり感情が高まった状態になっていることを表す形容詞です。2006年に出た『みんなで国語辞典!』（大修館書店）には〈感情的だったりテンションが高くなっている状態〉として報告されているので、遅くとも10年前には使われていたことが分かります。ただし、知られたことばではありませんでした。『現代用語の基礎知識』が掲載するのは10年版からで、しかも12年版からはパンクロックの一種、エモーショナル・ハードコアの略称「エモ」の形容詞形として載るに止まりました。15年版から〈「ヤバイ」を越える感動や感激の気持ちを表す〉としてまた載るようになりました。一般での使用も、10年代になって増えています。今年も「エモい曲」「冬はエモい」など、非常に多くの例が見られました。「ほぼほぼ」に次ぐ順位に置くのが適当です。日本語では、「四角な→四角い」「黄色の→黄色い」というように、「特別ではなく普通の日本語の一員になった」と感じられる場合、形容詞化が起こることがあります。ただ、外来語が形容詞化することは大変少なく、1970年代末の「ナウい」、現在の「エロい」「グロい」ぐらいしか例がありません。「エモい」は稀な例と言えます。「エモい」は、感動・寂しさ・懐かしさなど、漠然としたいろいろな感情表現に使われます。古代には、これとほとんど同じ用法を持った「あはれ」ということばがありました。「いとあはれ」と言っていた昔の宮廷人は、今の時代に生まれると、さしずめ「超エモい」と表現するはずです。

(<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/topic/shingo2016/2016Best10.html#best02>)

上に書かれているように、もともと英語で「イーモ (EMO)」という音楽ジャンルを指す言葉から生まれたものが日本語で形容詞化したと考えられる。学生アンケートの自由記述でも見られたように、いわく言い難い気持ちを表わす語は他にも類例がありそうである。

5. おわりに

本論文は現代日本語に見られる「まんじ」の記号(卍)が含まれている表現について論じた。大学生147人を対象にアンケート調査を行った結果、口語的な親しい関係性の中で用いられていることがわかった。それを用いる理由は多様であり、好むか好まないかも大きく分かれていた。少なくとも今回の結果では、この言葉を知っている人は多いが、使わないという人も多いということが明らかになった。語用論の分析方法を用いて、人間が表現できないものを表現したい場合に、楽しみながら新しい表現を使うとともに、新奇表現を使うことへのためらいを見せる使用者も多くいるというせめぎ合いが存在していることが明らかになった。

【参考文献】

- 庵 功雄 (2012) 『新しい日本語学入門—ことばのしくみを考える』 東京：スリーエーネットワーク.
- 小野寺典子 (編) (2017) 『発話のはじめと終わり 語用論的調節のなされる場所』 東京：ひつじ書房.
- 山梨正明. (1986) 『発話行為』、東京：ひつじ書房.
- 山梨正明. (2000) 『認知言語学原理』、東京：くろしお出版.
- Cruse, D. A. (1986) *Lexical Semantics*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Horn, Laurence R. (1989) *A Natural History of Negation*. Chicago: The University of Chicago Press.
- Wittgenstein, Ludwig (1921) *Logisch-Philosophische Abhandlung*, First published in W. Ostwald's *Annalen der Naturphilosophie* [*Tractatus Logico-Philosophicus*, Original English translation by Frank P. Ramsey and C.K. Ogden 「論理哲学論考」奥雅博 (訳) (1975., 2001) (『ウィトゲンシュタイン全集 1』、大修館書店.)]

(2018 年 9 月 9 日受理)